

# 支部だより

令和3年1月  
第86号

「みんなで突き破るぞ」

南宗寺門徒会館・納骨堂  
見学会のご案内

支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族や親しい方々と暖かい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ感染拡大の第三波が日々全国に波及し深刻さが増すなか、社会経済の先を読むと言われる株価はバブル期以来の高値を付けるなど、あと少しの辛抱との予感も感じられます。それでも気を緩めず三密を避け、用心怠りなくしなければなりません。

さて、昨年の支部活動は春の通常総会は書面議決方式で実施できたものの、夏の納涼懇親会は中止、例年この号でご案内する新年会・ポーリング大会も中止です。それでも2級製図講習会、神戸東灘見学会、青年部会活動は企画や実施方法を工夫して行うことができました。この後、2月13日(土)には南宗寺門徒会館・納骨堂見学会も実施します。

ほかに懸案だった新規ホームページ

(<http://www.kentikushikai-kakogawa.com>)も開設できました。また、多くの新入会員(速水香織さん、久保田美咲さん、貴傳名良泰さん、高松冬果さん、植田泰介さん、井上しおりさん)をお迎えすることもできました。

なにより、本支部所属の(公社)兵庫県建築士会会長 宮宅勇二氏が、昨年秋に黄綬褒章を叙勲されました。大変な一年でしたが、多くの嬉しいこともありました。

今年も厳しい状況は続きますが、これからは「コロナの影響で」ということばを使わないことにします。皆様のご支援とご協力をいただきながら例年以上の活動を目指します。

令和3年の干支は「丑」、一步一步、上を向いて進み、さらなる発展の年にしていきたいと思えます。

また、今年の近畿建築祭(兵庫大会)は姫路市で開催されます。具体的な企画はこれからですが、コロナ禍を克服した記念大会にするため知恵と力を結集させましょう。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今、思いつく言葉をひとつ、「雲外蒼天」、みんなで突き破るぞ!

(支部長 小西 敏文)

昨年1月の斑鳩寺庫裡見学会に引き続き、10月に竣工した南宗寺門徒会館・納骨堂の見学会を企画しました。この施設は、加古川市西神吉町にある浄土真宗本願寺派南宗寺さんが、同地区内に新築された建物です。

斑鳩寺庫裡が伝統建築であるのに対して、木造寺院建築において意匠と構造共に随所に新たな試みが見られる建物です。高御位山の裾野に立ち、深い軒の出をもちながら、外部空間と内部空間が一体となるようにデザインされ、伝統のなかに斬新さを取り入れたところに見ごたえがあります。

この機会に、設計監理業務におけるご苦労話もお聞きできると思います。

設計監理 建築：古田建築設計事務所

構造：木構造建築研究所 田原

興味のある方、是非ご参加ください。お待ちしております。

(研修委員会 委員長 増田 正幸)

記

1. 開催日 令和3年2月13日(土曜日)  
14時から
2. 集合場所 加古川市西神吉町1610  
南宗寺門徒会館・納骨堂(敷地内に駐車場)  
西神吉小学校西側道路を北に進み(加古川運動公園陸上競技場方面)最初の信号を直進して100m過ぎた左に建つ
3. 参加費 500円
4. 申込締切 令和3年2月10日
5. 申込及び問合せ先  
連絡・参加申込書に記載しております。



上空からの外観

当日参加の場合は、2月13日(土)10時まで、小西支部長までお問い合わせください。



納骨堂夜景

## 恒例「新年会&新春ボーリング大会」 開催 見送りのお知らせ

令和2年11月10日第4回理事会において、開催について協議致しましたが、感染拡大が再び進んでおり、開催を見送ることとすると決定いたしました。

(厚生委員会)

## 令和2年度(公社)兵庫県建築士会 加古川支部 神戸東灘 見学会に参加して

建築士会の史跡散策に、初めて参加させていただきました。あまり、こういうイベントには参加してこなかったのですが、少し戸惑いもありましたが、楽しい時間と建築に触れ合う小旅行ができたものと思います。

加古川駅より出発し、阪急御影駅で下車。そこから、建造物文化財の香雪美術館へ。数々の展示物に、広大な庭千坪を散策致しました。

建築群も、洋館は来賓を意識したような、大正モダニズム建築と和風建築の融合した巨大なものでした。

設計者は藤井厚二氏。時代を先取りしつつも日本人としてのアイデンティティを強く意識した設計者のような感じがしました。

中に入れなかった事が、少し残念でしたが、将来、開放されるなら、もう一度訪れたい場所でもあります。

それから昼食。人見知りの私ですが、このころには皆様と打ち解けて話せるようになり、昼から御影公会堂に、皆で向かいました。

この公会堂の大改修を設計監理された神戸市職員の方の説明をお聞きし、この改修工事がいかに大変なものであったかが、よく解りました。

昭和初期の建築の美しさを守りつつ、現代のユニバーサルデザインにも対応しなくてはいけないのは、本当に大変だったと思います。

そのあと、甲南漬物資料館へ。資料館の方のユ

ニークな説明が、とても印象的でありました。こちらの建築も竣工は1930年と昭和初期の建築、大正時代のアールデコ調の建築、先程の御影公会堂と同じ設計者、清水栄二氏という話でした。

曲線の美に感銘をうけつつ、何かここも日本人としてのアイデンティティを感じる様な和風の匂いも感じました。特に感銘を受けたのは屋上に通ずる通路は幻想的な感じがして、印象深いスポットでもありました。

その甲南漬けのお土産を買い、最後の訪問先酒蔵「福寿」さんに。ここは自由参加ということでした。試飲をさせてもらい今日一日の色々な事を皆様と語りながら帰宅の途に。

とても充実した一日が過ごせたことで、こういう一日もいいものだなと思っています。また機会があれば是非参加していきたいと思っています。

最後に、支部長を初め、この企画を準備された方々に、感謝したいと思います。

(竹内 重宏)



香雪美術館休憩処



御影公会堂

## 青年部情報 (青年部会)

1.公益事業5-2 2級製図講習会 3名申込み  
2名受講。

9/13(製図試験)⇒12/3(1名の合格確認)

2.活動状況

・東播ブロック・・・中止

・加古川楽市・・・中止

・見学会等の企画・・・中止

・近畿建築祭：大阪 10/17

(10:00~17:00)

・FORZA若い夢フェスティバル・・・中止

・現在、三役会以外開催見送りをしています。

## 黄綬褒章をいただいて



昨年の秋に思いがけず、天皇陛下より黄綬褒章をいただきました。正に光栄の至りです。

大きな喜びと共に、これまで関係者の皆様をはじめ、多くの方々に支えられてきた事に深く感謝申し上げたい、と存じます。

何故受賞されたか、と言えば、建築士会における活動がその大きな理由のひとつであるのは間違いないことだと思います。

思い起こせば、20代後半に建築士会に入会し、早や40年近くが経ちました。

思い出に残る数多くの出来事がありますが、最も記憶に残る事をひとつ御紹介したいと思います。

それは、当支部の青年部長をしていた時に、支部創立30周年を迎えました。創立30周年記念事業の一つとして、「少年少女絵画展」を青年部で開催しました。

これは「未来の都市、建物、我が家」という題名で、小学生を対象とした絵画展を開く、というものでした。夏休み前に二市二町の47小学校に青年部員が手分けをして、応募のお願いに行きました。そして最終的に229点の力作が集まり、秋に松風ギャラリーに全ての作品を展示して、士会員、一般の方々に鑑賞していただきました。

そして、金賞、銀賞等を士会員の投票によって決定し、式典の際に児童を招いて表彰状と記念品を渡しました。

また、ちょうどその頃、加古川市役所新庁舎の建築工事期間で、地域振興課からあるお願いがありました。それは仮囲いに優秀作品2名の拡大図を描いてもらえないだろうか、ということでした。金賞、銀賞、の2人に頼んでみると、快く引き受けてくれ、工事期間中鑑賞出来たのです。そんなおまけの様な事もありました。

その絵は現在も縮小され、陶板画として、庁舎南側の塀の一角に残されています。

過去を振り返ってみると、他にもいろいろ思い出されますが、紙面の都合もあるでしょうからここ迄とします。

今後も褒章をいただいたことに対する御礼、という意味でも、建築士会に対して、微力ながら力を尽くしたい、と存じます。

共に歩んできた会員の皆様、これからもよろしくお願ひ申し上げます。(宮宅 勇二)

(3)

## 理事会報告

理事会ってどんなことを話し合っているのか?について少しご紹介いたします。

## ■協議事項

## (1)各委員会の活動状況

## ①広報委員会

- ・支部だより 85号・86号について

## ②研修委員会

- ・見学研修会（神戸東灘見学会）について
- ・市内見学会の開催 ※古田さん設計・監理（南宋寺 門徒会館、納骨堂）見学会について

## ③厚生委員会

- ・新年会・ボウリング大会 の開催について
- ・新型コロナウイルスの感染予防を踏まえ、対応を協議

## ④青年部会

- ・2級製図講習会について
- ・活動状況及び予定について

## (2)その他

## ①支部ホームページの運用開始について

アカウント：kentikushikai-kakogawa.com  
本部理事会で報告後、本部HPへのリンク依頼

## ②秋の叙勲で、宮宅勇二氏が黄綬褒章を受章。

支部主催の叙勲祝賀会は、感染拡大の懸念解消後、行うこととする。

## 2. 本部理事会報告

## (1)本部理事会で協議されたことを支部長より報告

## (2)県本部各委員会

各委員会に出向されている方より、報告事項がある場合に報告して頂いています。

## ■会員動静（会員数・入退会等）

## ■次回 理事会開催日

こんなこと・あんなことを話し合っています。  
最後に次回開催日を確認して閉会です。

## 編集後記

毎回毎回、慌ただしく支部だよりをまとめていますが、コロナ禍で事業の中止や縮小で、支部だよりに掲載する記事を依頼しにくくなりました。

そういう中でも、当会支部長の任にも就かれた（公社）兵庫県建築士会 会長 宮宅勇二氏が黄綬褒章を叙勲されるという記事が載せることができ、大変嬉しく思っています。

『ええはなしやん』では、青年部長時代に、創立30周年記念事業の一つとして、キラリと光る事業をされ、その当時の子どもたちにとっても、心に残る出来事だったと想います。また、私たちにとっても、示唆に富むエピソードを披露して頂けたのではないのでしょうか。

『神戸東灘 見学会に参加して』では、初めてこういうイベントに参加したと言われる竹内さんに記事を書いていただきました。上手くまとめて頂

き、感謝です。

『南宗寺門徒会館・納骨堂見学会のご案内』ですが、どんな建物か写真でよくわかり、作成している私はカラーで見ているので、より鮮明に素晴らしいさが伝わってきます。研修委員会の皆様には毎回素晴らしい企画をして頂いているなぁと感じています。

今回、紙面に余裕があり、『理事会報告』で、理事会ってどんなことを話し合っているのか？についてレジュメに沿った形で、少しご紹介しました。理事の方だけでなく、全ての会員の方に、どんなことを話しているのを知って頂き、建築士会をより身近に感じて頂けたらという想いからでした。

支部長の新年のご挨拶の最後に、「雲外蒼天」、みんなで突き破るぞ！というお言葉を頂きました。「雲外蒼天」とは、文字通り、〈雲を突き抜け

たその先には、青空が広がっている〉ということですが、転じて、〈努力して苦しみを乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている〉といったことを指して使われる』とあります。

このコロナ禍を乗り越えれば、素晴らしい世界が待っているのです。みんなで突き破っていきましょう！

最期になりましたが、会員の皆様からの“ええはなしやん”を載せていきたいと思っておりますので、情報をぜひお寄せください。

また、支部HPも見て頂いて、ご意見ご要望もお寄せいただければ、大変嬉しいです。こちらも宜しくお願い致します。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

---

## 連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

事業名	参加者氏名	(緊急連絡先)	非会員 表記欄
南宗寺門徒会館・ 納骨堂 見学会	氏名	電話	
	勤務先等		
	氏名	電話	
	勤務先等		

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部  
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350  
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626  
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com



# 支部だより

令和3年4月  
第87号

## 「今年度もご協力、ご支援を」

“国破れて山河あり”・・・、暖かく穏やかな季節の到来です。ちょっと風が冷たい事もありますが、屋外の空気は快適です。世の流れを尻目に、しっかりと春の営みが始まっています。皆様も世間の気苦労を尻目に悠々と活動されていることと信じます。

さて、“集まらなきゃ意味がない”とばかりに、皆様にお声掛けをするのが常なのですが、引き続き自粛のお知らせとなります。しかし、皆様はネットを利用して会議を持たれる事もあるのでしょうか。“習うより慣れろ”とスマホを入手された方なら、当たり前になっているかも知れません。連絡を取り合ってこそ楽しく活動が進むと思いますので、我々もネット電話等を活用する事になると思います。とにかく色々な方法でお誘いは続けてゆきますので、今年度もご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。(副支部長 吉備 考司)

## 支部総会の書面議決方式にご理解をお願いします

今年の桜の開花は例年より早いそうです。このままでは入学式の記念写真は若葉の下となるかも知れません。少し前、支部総会の資料を取りまとめていたところは、いろいろな花の水仙があるものと散歩中、家々の庭先に目が行っていたものです。それが今は、日を追うごとに日差しも暖かくなりもう春間近かです。いつものことですが、心が和みます。

さて支部では感染拡大を予防するため、今年も支部総会を書面議決方式で行うことにしました。総会には及びませんがこの場をお借りして、簡単ですが議案の説明をさせていただきたいと思えます。

第1号議案の会員動静について、6名の方が入会され、6名の方が退会されました。県下全体では会員数は減少傾向ですが、多くの入会者がありました。入会者の中には青年部が主体となって活動している2級建築士製図試験対策講習会の受講生の方もおられます。

第2号議案の事業報告について、コロナ禍のなか支部だよりを4回発行しました。また見学会を2回開催し多くの参加者がありました。ほかに本部所管の建築士試験の監理員に延べ36名の会員を派遣しました。

第3号、第4号議案について、3月21日、尾上公民館で収支決算監査を受け適正であると認めていただきました。

第5号議案の役員改選について、7名の方を副支部長ほか各委員会の役職と監事に、2名の方を新しく理事に提案しています。

第6号議案の事業計画について、昨年度と同様の計画を提案しています。

第7号議案の予算案について、収入は支部会費と各事業の参加費を見込んでいます。支出は、ほぼ昨年度と同様の予算を計上していますが、7活動支援金(2.参加補助金)と10予備費を増額しました。これは近畿建築祭(兵庫大会)が令和4年1月29日に姫路市で開催されることを踏まえ、より多くの会員に建築祭に参加していただけるよう参加補助金を増額しました。またコロナ禍収束を見据え、支部事業の充実、新規交流事業の企画にも対応できるよう前年度の繰越金から20万円を予備費に積み増し、25万円としています。

総会は1年間の支部活動を総括し、会員の皆さんと新年度、より良い活動を目指して意見を交換する大切な機会です。その総会を今回も見送らなければならないのは残念ですが、ご理解をよろしくお願いいたします。

そして来年こそ、総会で議案の説明をして決を採る。その後の懇親会では近況や世間話で歓談、親交を深める。いつもの総会を開催したいと思います。(支部長 小西 敏文)

## 南宗寺門徒会館・納骨堂 見学会のご報告

去る、2月13日(土)に、南宗寺門徒会館・納骨堂の見学会を参加者20名にて開催しました。南宗寺は西神吉町集落にある寺院で、その東300mの元々田圃であった敷地に門徒会館・納骨堂が新築されており、久々の地元加古川での見学会となりました。

設計監理は、建築：古田建築設計事務所、構造：木構造建築研究所 田原、施工はヒラカワ建設にて当該建物は昨年10月に竣工しています。

最初に門徒会館ホールにて、古田様から設計概要について、2017年から計画が始まり、農振地域からの除外並びに開発許可申請を含め、設計に相当の歳月を要したとの説明でした。また、設計主旨について、播州平野にある敷地から西方に向かって本堂と高御位山が一直線に軸線が伸びてい

て、その東から西に向かう軸線に基づいて計画したとの説明でした。

社会が少子高齢化・過疎化へと大きく変化するなか、先祖・亡き人との新しい関係を構築する為の納骨堂、古い本堂を補完し人々が集う門徒会館、寺院のあり方はどうあるべきか問いかけながら設計を進めたとのこと、納骨堂は浄土を体現できる空間とし、門徒会館は現世をイメージする空間としたとお聞きしました。



上空からの外観（R3.1号より）

今回の見学建物は、木造在来工法による平屋建てですが、床面積（門徒会館 292.5㎡、納骨堂 129.9㎡）よりは軒が深い分だけ、規模が大きく感じました。平面形状は納骨堂が正方形（方形屋根）、門徒会館が長方形（入母屋屋根）と単純ですが、深い軒の出とそれを支える構造木組（納骨堂ははね出し3段合成梁）は複雑であることが、木構造建築研究所 田原様の説明と配布された図面で理解できました。また、現場説明で木構造建築研究所 田原の村田様から納骨堂における籠目の格子組、方形屋根の隅木部分のはね出しに大変苦労したとのことをお聞きしました。

現場説明から会館ホールに戻り、施工を担当されたヒラカワ建設の大瀬様が今回の工事で使用した構造金物一式を展示されているのを見て、金物の多さに驚くばかりで、合わせて現場でのご苦労話もお聞きしました。



納骨堂夜景（R3.1号より）

質疑応答の時間になり、私から田原様にNHKの番組で取上げられた木造梁の実験について質疑したところ、実験の経緯と木材資源の有効活用に

ついて構造設計者としての貴重なお考えをお聞かせいただけました。

最後に会館ホール（仏間）西窓大開口がオープンされると、高御位山が遠方に現れ、西方浄土を目の当りに見た思いで見学会を終えることができました。

古田様をはじめ、当日丁寧な解説をしていただいた皆様、ありがとうございました。これからは、住宅以外の木造建物が数多く増えてきそうに思います。今後機会があれば、木造建物の見学会を取り上げていきたいものです。

（研修委員会委員長 増田 正幸）



見学会当日集合写真

## 第39回令和3年度近畿建築祭（兵庫大会）の開催に向けて（取り組み状況の経過報告）

近畿建築士会協議会主催事業である「近畿建築祭」の次年度主管が（社）兵庫県建築士会であることまた、お隣の姫路で開催されることから、会長 宮宅勇二様より取り組み状況の情報を頂き、掲載させて頂くことにいたしました。

- テーマ：「わがこころの建築文化を求めて」  
～播州・姫路城から今一度建築士に問う～  
・・・千姫の 春やみらいの 夢想う・・・
- 開催日時：令和4年1月29日（土）  
10：00～16：30
- 開催場所：姫路文化コンベンションセンター  
（アクリエ姫路）4階  
《エクスカーション／姫路城ほか（検討中）》
- 参加費：4,000円（昼食・お土産付、エクスカーション参加者への加算は検討課題）  
※一般県民等は無料（昼食なし）とし、式典・セッションへの参加を検討中。
- 参加者：約300名／近畿建築士会会員（約250名）、一般県民等（約50名）
- 開催コンセプト  
大天守保存修理を終えた日本での世界遺産第一

号である姫路城を仰ぎつつ、建築物やその景観が人々に与える希望と勇気を再認識し、近畿で活躍する建築士の職能（プロフェッション）を喚起する。

## 《プログラム（案）》

○式典/ 10：00～12：30（多目的ホール：約300名）

■開会式 【兵庫士会会長挨拶、来賓紹介、大会旗引継ぎ】

■記念講演会 講師：千田嘉博教授（城郭考古学者：奈良大学）ほか

■企業ブース案内

■閉会式 【実行委員長挨拶、大会旗引継ぎ、次期開催地会長挨拶】

○セッション/13：30～16：30（約100名）

■セッションA 「近畿あーきてくとVOL29」  
：近畿建築士会協議会青年委員会

■セッションB 「未定」

：近畿建築士会協議会まちづくり委員会

■セッションC 「未定」（パネル展示検討中）  
：近畿建築士会協議会女性委員会

○エクスカーション/ 13：30～16：30  
（約150名）

○交流会/ 実施しません。

## ええはなしやん

第66回

### 「職業人と語ろう」に参画して

「職業人と語ろう」は、東播磨県民局の東播磨地域ビジョン委員会夢のたねグループが開催されている企画です。小学生を対象に、様々な業種の職業人が集まり、実際の職業体験を通じて、子供たちが将来の夢を具体的に描いたり、明るい未来を想像できるようにと支援されています。

私は、縁あって加古川市立八幡小学校での開催に2年前からお手伝いさせていただいてます。今年も企画されていたのですが、新型コロナの影響で開催が中止となってしまいアンケートへの回答のみとなってしまいました。準備していたこともあったので残念でしたが、仕方がないですね。

さて、プログラムは、仕事体験を含む講義を45分間、生徒が入れ替わって2回行う内容なのですが、建築設計の仕事をして45分で伝えなければならず、なかなか忙しい講義です。子ども達に何か成果を持って帰ってもらいたいと思うのですが、説明をして何か作業をといっても作業時間は20

～30分。毎回、悪戦苦闘しております。

毎年何人かは「建築士になりたい、興味がある」という子どもがいるようで、責任も感じております。20年後、「講義を受けて建築士になりました」という人があらわれるのでしょうか。ともかくも子ども達の人生が幸せであってほしいと願うばかりです。  
（島崎 淳二）

## 理事会報告

理事会ってどんなことを話し合っているのか？について第86号に続いてご紹介いたします。

### ■協議事項

#### 1. 総会資料の作成について

①総会次第の取り止め⇒書面議決のお願いへ  
書面議決方式には、会議進行管理の次第は馴染まないため

②役員改選（案）について

理事の退任及び新任・役職変更について

③令和2年度収支決算報告について  
会計監査報告について

令和3年度予算（案）について

今年は親睦会等の事業を自粛した結果、繰越金が前年度より20万円程度増えた。この20万円をコロナ後を見据え、支部事業の充実、新規交流事業に活用する。

※ 総会資料案に誤り、気付いたことがあれば、後日支部長まで連絡する。

#### 2. 第58回支部通常総会（書面議決）の実施について

① 実施日時 4/18（日）13：30～

場 所 支部事務局／吉備建築設計室  
加古川市加古川町本町21-17

② 書面表決書の集計・確認

支部長・副支部長の複数人による。

③ 総会資料・開催案内ハガキの送付

（支部日より第87号に同封） 4/2（金）  
書面表決ハガキの返送期限 4/15（木）

④ 書面議決の結果報告

4/20（火）に支部ホームページに掲載。

※ スケジュール案のとおり、実施することとする。

#### 3. その他

宮宅会長より 令和3年度近畿建築祭（兵庫大会）は令和4年1月29日、アクリエ姫路で開催。開催に向けた応援、多くの参加をお願いする。

### ■報告事項

#### 1. 県本部各委員会

・総務委員会（永井氏）

会員名簿を6月に発行予定。

### ■会員動静

中野耕治氏 令和2年11月25日逝去

## 編集後記

高砂や この浦船に帆をあげて この浦船に帆  
をあげて 月もろともに 出汐の 波の淡路の島  
影や 遠く鳴尾の沖過ぎて はやすみのえに  
着きにけり はやすみのえに 着きにけり

謡曲「高砂」の一節です。その発祥の地高砂神社  
の桜は今まさに満開になっています。

例年であれば、お花見のシーズン到来で、はしゃ  
いでいるところですが、早や第4波がやってこよ  
うという状況下、2年連続で総会を書面による議  
決ということになってしまいました。そのような  
中でも、いや、このような状況だからこそ、理事  
会では、自粛で余った予算をコロナ後を見据え、  
支部事業の充実、新規交流事業に活用しようとい  
うことで、決意を新たにしています。

『南宗寺門徒会館・納骨堂見学会のご報告』で  
は、増田委員長自ら投稿してくださいました。当  
日の集合写真も良いのですが、上空からの外観・  
納骨堂夜景を今一度思い出していただきたいと思  
い、前号に引き続き、写真を載せさせていただきます

ました。

「近畿建築祭」が来年度、姫路で開催されます。  
ぜひ参加して頂きたいという思いも込めて、情報  
提供頂きました。日時は決定です。スケジュール  
帖に予定を入れて頂きたいと思います。

“ええはなしやん”では、島崎さんに「職業人と  
語ろう」について書いて頂きました。学校からの  
アンケートへの回答の内容が素晴らしく感動した  
と、スタッフの方から聞いたので、ぜひ“ええは  
なしやん”を書いていただきたいとお願いし、快  
く書いていただきました。ありがとうございます。

『理事会報告』では、協議事項・報告事項・会  
員動静について記載しました。中野耕治氏のご冥  
福をお祈りいたします。

最期になりましたが、会員の皆様からの“ええ  
はなしやん”を載せていきたいと思しますので、  
情報をぜひお寄せください。

また、書面議決の結果報告を4/20(火)に支  
部ホームページに掲載するという事です。ぜひ  
ご確認ください。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

※添付の「書面表決書ハガキ」に議案の賛否とご署名をお願い致します。

※「書面表決書ハガキ」は4月15日までにご返送ください。

## 連絡票

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部  
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350  
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626  
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

